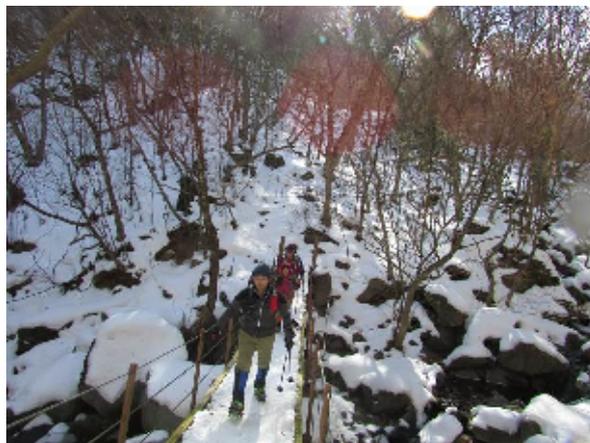


スッカン沢山行報告



【山行日】 2018年 2月 17(土) 晴れ
【集 合】 栃木市運動公園P AM 7:30
【費 用】 マイカー1台 : 1,600円
【メンバー】 CL:鈴木、岡、津佐、鶴見久、藤原
【コースタイム】栃木市運動公園 P7:30=山の駅「たかはら」P8:50/9:20~雷霆の滝 10:00/10:10~
咆哮霹靂の滝 10:30/10:40~スッカン橋 11:00~
雄飛の滝 11:20/12:00~雷霆の滝 12:30~山の駅「たかはら」13:30/14:10=栃木市運動公園 P15:40

去年スッカン沢を歩き素晴らしい氷の芸術を見て、皆さんに是非見てもらいたいと思い計画した。ところが我輩の思いが伝わらず、参加者が5名と少なく淋しい山行になってしまった。東北道を北に進み、矢板ICで降りて八方ヶ原の山の駅「たかはら」を目指す。県道30号線を北上し、泉の信号を左折して県道56号線を進む。途中から山道になるが、除雪されており雪道を走らず山の駅「たかはら」に着いた。土曜日なので山の駅のトイレが使えると思ったが、10時開館のため使用できなかった。準備を整えアイゼンを付けて出発する。往路は桜沢に向かって下って行き、途中から桜沢に沿って下るようになる。大勢が歩いたようで、トレースがバッチリ付いておりとても歩き易い。天気は良く雪の斜面に木の影が映り、影の縞模様がとても美しく見えた。40分程下ると最初の



滝「雷霆の滝」に着き、休憩を取り写真を撮り水分補給を行う。ここから少し下ると雷霆の吊り橋で、桜沢の左岸に渡るが、T 見さんが渡ると後ろの3人が橋を揺らし意地悪をしていた。雄飛の滝への分岐は直進し、急坂を下ると「咆哮霹靂の滝」に着く。右側の滝が完全に凍結し、Oさんと T 見さんは滝の途中まで登って行った。2人の写真を撮ったら滝の入口に戻り、休憩しておやつタイム。F原さんの高級菓子をいただき、水分を補給したらスッカン沢へ向かう。雄飛の滝分岐まで来た道に戻り、分岐から右に進む。尾根を巻くように登り、少し下ると左の岩壁に氷の芸術が現れる。

岩の間から染み出た水が凍り、まるでガラスのシャンデリアのように重なりとても素晴らしい。岩壁に出来た氷の芸術を楽しみながら木の階段を降りて行き、スッカン橋

でスッカン沢を渡る。スッカン橋の上から見上げると、岩壁に下がるツララ群の全体が見渡せより美

しく見える。橋を渡って対岸を登り、上流に向かって進むと雄飛の滝の展望台に出る。遊歩道から少し降りた所に作られた木製の展望台で、雄飛の滝の全容を見ることが出来る。今日は風も無く暖かいので、ここでランチタイムにすることにした。本日の山ご飯はきのこと蕎麦とダシ巻き卵。Oさんが桜エビのかき揚げを作って来てくれ、超豪華なランチをいただく。ところがこのころから天気が悪くなり、日差しが無くなり小雪が舞い始める。お茶を飲んだら急いで後片付けし、さっさと下山する。復路は来た道をもどり、雷霆の滝で小休止する頃には結構雪が降ってきた。しかしまだ暖かく雪を気にせずに歩けたが、段々登るにつれ風が強くなり寒さも増してきた。駐車場の手前からさらに風が強くなり、駐車場では吹雪のような状態になっていた。いそいで靴を履き替えて着替えたらずツクを車に入れ、山の駅「たかはら」に逃げ込んだ。トイレに入り凍った頭を融かし、暖房のきいたレストランへ行く。皆さんは熱いコーヒーを注文したが、我輩は無料の熱いお茶をいただき体を温めた。体が温まったら車に戻り、道の駅「やいた」に向かう。道の駅に着くと、楽しみにしていた直売所が改装工事でお休み。仕方が無く東北道に乗り上河内SAで買い物し、予定通り栃木市運動公園Pに帰着した。

